

研究員の眼

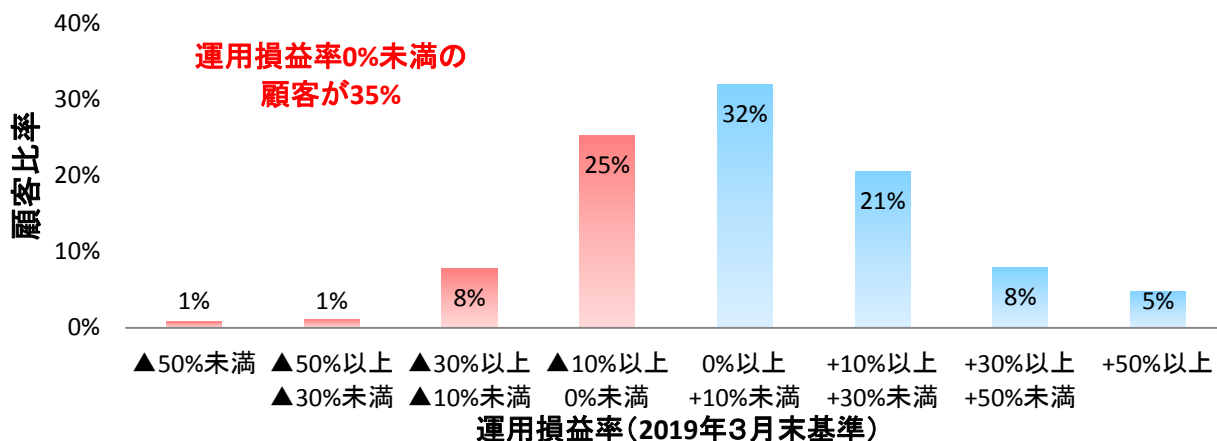
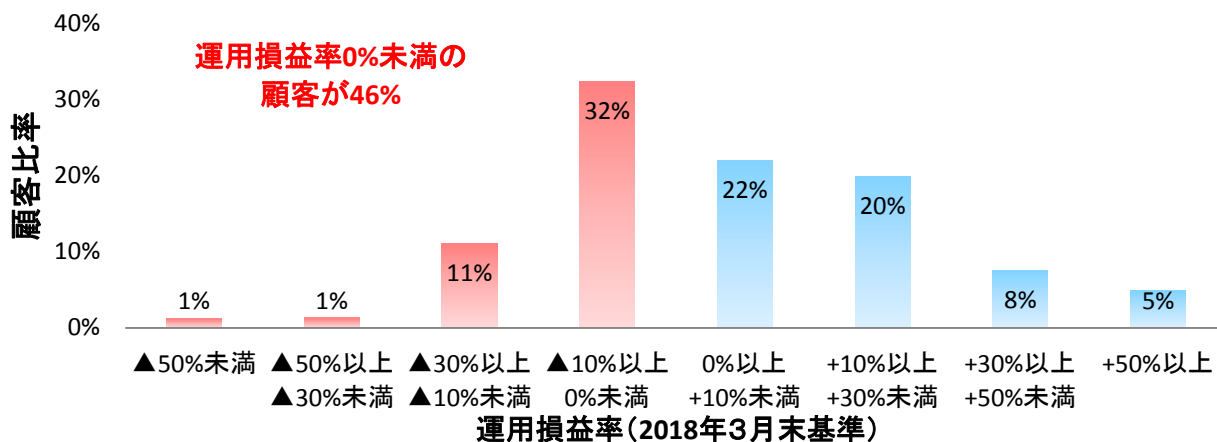
投信の運用状況、2019年3月末はやや改善 ～損失を抱えている割合が46%から35%に減少～

金融研究部 准主任研究員 前山 裕亮
(03)3512-1785 ymaeyama@nli-research.co.jp

投信の運用状況がやや改善

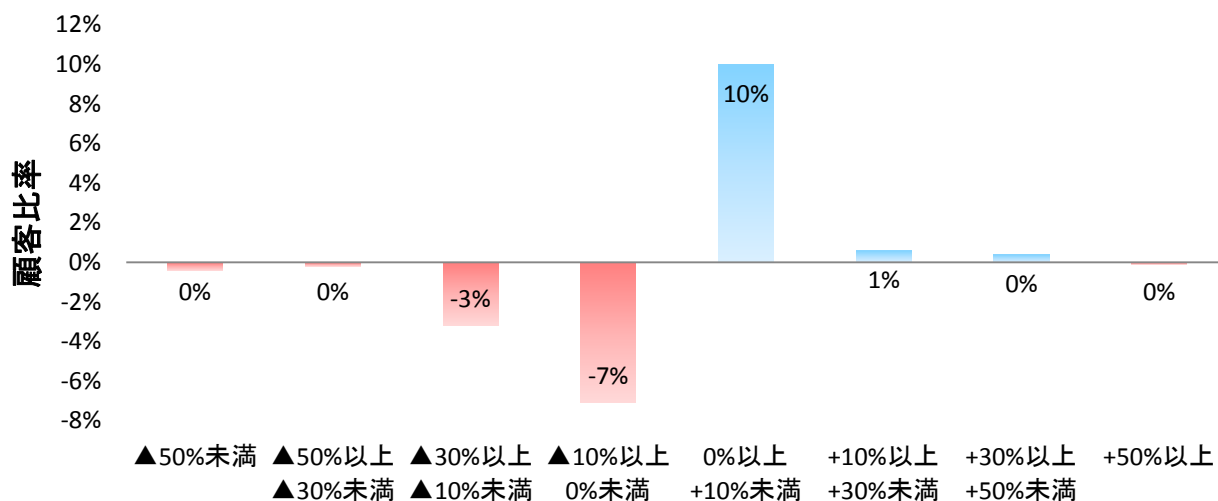
8月9日に金融庁から「販売会社における比較可能な共通KPIの公表状況」が公表された。公表された資料によると、2019年3月末時点では2018年3月末時点と比べて、投資信託の運用状況がやや改善したことが明らかになった【図表1】。

【図表1】投資信託の運用損益別顧客比率(上:2018年3月末基準、下:2019年3月末基準)



(資料) 金融庁公表資料より作成。

【図表2】投資信託の運用損益別顧客比率(2019年3月末基準-2018年3月末基準)



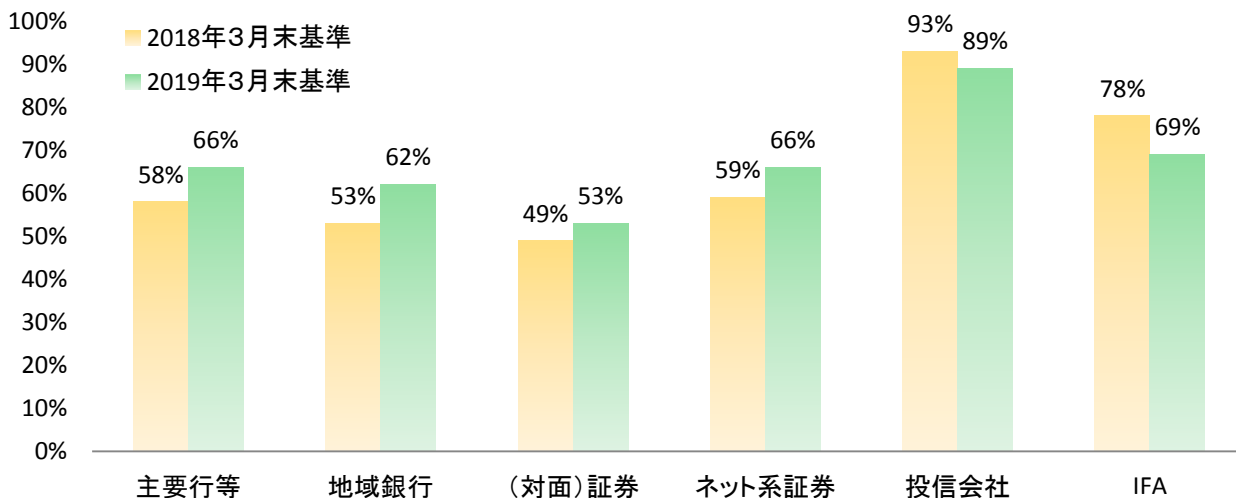
(資料) 金融庁公表資料より作成。

2018年3月末時点(上段)では、運用損益率が「▲10%以上、0%未満」の比率が32%と最大であり、0%未満の顧客の比率が46%もあった。それが2019年3月末時点(下段)では、運用損益が「0%以上、+10%」の比率が32%と最大となり、0%未満の顧客の比率も35%に低下した。顧客比率の差異をとると、2018年3月末時点で運用損益が▲30%以上、0%未満であった顧客の一部が、2019年3月末時点では0%以上、10%未満にシフトしたことが推察される【図表2】。

地銀の改善が特に顕著

次に、業態別に運用損益率が0%以上の顧客割合をみると、主要行等、地域銀行、(対面)証券、ネット系証券の割合が2018年3月末時点と比べて2019年3月末時点で上昇した。特に地域銀行の割合が53%から62%と9%も上昇し、運用状況の改善が顕著であった。その一方で、投信会社(直販)とIFAは2018年3月末時点で元々の割合が高かったこともあったのか、2019年3月末時点では低下した。

【図表3】業態別の運用損益率0%以上の顧客割合



(資料) 金融庁公表資料より作成。2018年3月末基準と2019年3月末基準とで比較可能な業態のみ表示。

好調な内外REITが影響したのでは

2018年3月末時点と比べて2019年3月末時点の運用状況が改善した一番の要因としては、内外REITが好調であったことがあげられる。実際に2019年3月末時点で純資産総額が大きいファンドの2018年度の収益率をみると、内外REITファンド（赤太字）の収益率が18%から25%と特に高パフォーマンスであったことが分かる【図表4】。

内外REITファンドが好調な一方で、主に（対面）証券で販売しているテーマ型の外国株式ファンド（青太字）はほぼ横ばいであった。そのため主要行等や地域銀行などと比べて、（対面）証券の改善度合いが低かったのかもしれない。また、国内株式ファンド（緑太字）の下落が、投信会社（直販）とIFAの割合低下に影響したのかもしれない。

最後に

2019年3月末時点で運用状況が改善したのは、好調な内外REITの影響、つまり足元の運用環境の影響が出たといえるだろう。ただ、このように運用環境で一喜一憂するべきではないであろう。これから年によっては再び運用状況が悪化する年もあるかもしれないが、5年後、10年後はより多くの投資家が利益を出している状況となっていることを期待したい。

【図表4】2019年3月末時点で純資産総額が大きい上位20ファンド

ファンド名	運用会社	2019年3月末 純資産	2018年度 収益率
1位 フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	フィデリティ投信	6,521 億円	23%
2位 フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	フィデリティ投信	6,443 億円	9%
3位 ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	ビクテ投信投資顧問	6,330 億円	15%
4位 新光 US-REIT オープン	アセットマネジメントOne	6,074 億円	21%
5位 ひふみプラス	レオス・キャピタルワークス	6,038 億円	-10%
6位 ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型) Bコース(為替ヘッジなし)	大和証券投資信託委託	5,469 億円	25%
7位 東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	東京海上アセットマネジメント	5,397 億円	2%
8位 ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント	5,143 億円	20%
9位 野村インド株投資	野村アセットマネジメント	4,476 億円	0%
10位 グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	三菱UFJ国際投信	4,417 億円	2%
11位 グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	日興アセットマネジメント	4,402 億円	-1%
12位 グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	日興アセットマネジメント	4,163 億円	-1%
13位 グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	アセットマネジメントOne	3,939 億円	10%
14位 財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	日興アセットマネジメント	3,725 億円	5%
15位 フィデリティ・日本成長株・ファンド	フィデリティ投信	3,626 億円	-12%
16位 ロボット・テクノロジー関連株ファンド -ロボテック-	大和証券投資信託委託	3,412 億円	2%
17位 ダイワ米国リート・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし	大和証券投資信託委託	3,287 億円	25%
18位 J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト・アセットマネジメント	3,171 億円	18%
19位 スマート・ファイブ(毎月決算型)	日興アセットマネジメント	3,045 億円	4%
20位 野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース(為替ヘッジあり 年2回決算)	野村アセットマネジメント	2,997 億円	0%

(資料) Morningstar Direct より作成。ETF、SMA・DC専用ファンドは除外

(ご注意) 当資料のデータは信頼ある情報源から入手、加工したものです。その正確性と完全性を保証するものではありません。当資料の内容について、将来見解を変更することもあります。当資料は情報提供が目的であり、投資信託の勧誘するものではありません。